

かろうじて防御中

郡内各小中学校でもインフルエンザが蔓延して、多くの学校で学級閉鎖による対応を余儀なくされています。麻績小学校も、いつときは「いよいよ流行の兆しか」と緊張感が高まったものの、その後罹患者がなくて何とかここまで

きています。先週は、「かぜ予防週間」の取り組みがされて、健康委員さんからの呼びかけや、山崎先生のご指導の成果があらわれていることを、ありがとうございます。今年度おみえになった3人の先生方が子どもたちに紹介してくださいました「かぜ予防法」も児童玄関に掲示されています。今後も、うがい、手洗いの励行や、集会など多くの児童が接近・接触する機会を極力減らして、何とかこの冬をこのまま乗り切ることを目指したいです。

そうは言っても乾燥注意報が発令され、これだけ世間を騒がす厳しい状況では、いつ身近に罹患が生じるとも限りません。大事をとって早めに休ませていただくことも、大流行を避けるうえでは大切です。お家の皆様のご協力もお願いしたいです。ひやひやどきどきの日々を過ごしています。



児童会三役選出される

24日に行われた立ち合い演説会及び選挙により、新たな児童会リーダーが選出されました。

会長に、森山 紗菜 さん

副会長に、藤原 天珂 さん

議長に、山口 隼杜 さんの頼もしい三名です。立会演説会では、それぞれに願う児童会を

平成三十一年度 麻績小学校 児童会長選挙 投票結果		
議長	副会長	会長
山口 隼杜	藤原 天珂	森山 紗菜



現するための考えを堂々と述べました。応援責任者も立派につとめを果たしていました。これからは、三役の協力体制はもちろんのこと、ともに盛り立てていく5年生以下全校の皆さんの意識がとても大切です。立場はそれぞれでも、心をそろえて取り組めることが大切です。もちろん個々の持ち味にも期待しますが、「和」として、「集

団」としての力が今からとても楽しみです。

そして今、6年生は最終の児童総会の議案書作りに取り組んでいるそうです。おそらく、あっという間に引継ぎの時期がやってきてしまった、というところだと思います。この一年間で得た多くのことを、5年生に引き継ぐことはもちろん、自身の財産として新しく始まる生活に活かして行ってほしいです。6年生は、引継ぎまでのあとひとがんばりをよろしくお願いします。

美化委員会による児童集会

いっしょに掃除をすると、「腕まくりをしましょう」「校長先生、腕まくりだよ!」と、あちらこちらからお声がかかります。腕まくりの状況が甘いと、「ここまで、するんだよ」とわたしの腕まくりまでお世話してくれる子もいます。子どもたちにとっては、この「気合いの腕まくり」がとても大切らしいです。



さて、今日(27日)は、美化委員の皆さんが「そうじ」にかかわる呼びかけをしてくださいました。①取りかかりの大切さ(腕まくりも)、②そうじ道具の扱い方やおしゃべりをしないこと、③早く終えても、時間いっぱい気づき清掃をする、など麻績小学校が大切にしている「そうじのがんばりどころ」の確認をしてくださいました。そして、今回も登場した「おそうじレンジャー」の皆さん(かぶりもの大好き麻績小!)も大活躍でした。

そうじは毎日のこと(水曜日の日課からはなくなりましたが)ですので、いつの間にか意欲も約束事もマンネリ化してしまうこともあります。残り少なくなってきた3学期の日々を、この集会を機にもう一度リフレッシュして、気合いの腕まくりで隅々まで磨き上げてくれることを期待しています。

* * * * *

さて、今日まで児童集会で発表内容の豊かさには毎回驚かされています。

本来の委員会活動の中心は当番活動にあると私は考えます。休み時間等に遊びたい気持ちをぐっところえて、責任を果たさなくてはならないものです。でも、「誰かのために、今このことを」という、そこにこそ意味や価値があると思います。一方で、集会のような場での「発信」もとても大切な力です。緊張感を感じながら、友だちの前で、自分の役割を果たすこと、そして自分の考えを相手に伝える力。これも大切な学習場面、そして経験の場であると思います。そんな限られた機会をととても上手に活かしてください。担当の各先生方に感謝します。そして、その期待に応えて自分の殻を破り、多様な表現力を発揮してくれる子どもたちを、喜びいっぱいで見させていただいています。